

りそな経済フラッシュ

(25年も続くNISAを通じた円安圧力)

 2025年 2月 14日
 りそなHD 市場企画部
 担当：苅谷

- 新NISAを通じた個人マネーの多くは海外資産へ流入しており、恒常的に円安圧力が生じている。
- 個人の含み益が膨らむにつれて、ポジション解消を通じた円高圧力のエネルギーを蓄積している一方、つみたて投資枠が3割であることや貯蓄から投資の流れが続くことから、今後も円安圧力が継続する見通し。

貯蓄から
投資へ

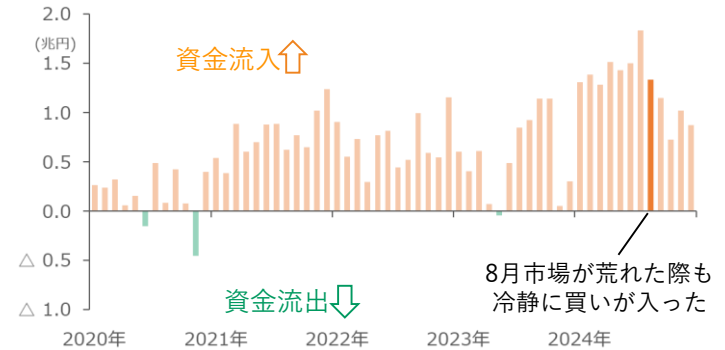
投信への資金流入が
過去最高

流入額:16兆円(前年比+89%)
 純資産残高:246兆円(前年比+20%)

海外株
投資

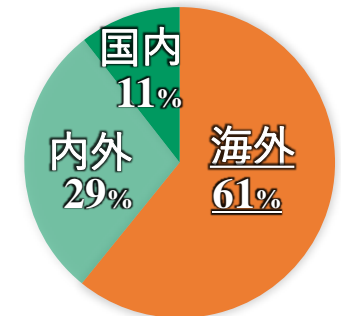
海外資産に投資する
投信への流入額が
約 6 割

【公募投信(ETF除く)への資金流入推移】



【2024年資金流入内訳】

国内外へ投資する投信も踏まえると、
海外資産への投資割合は更に高まる



出所：各種報道、投資信託協会、Bloomberg

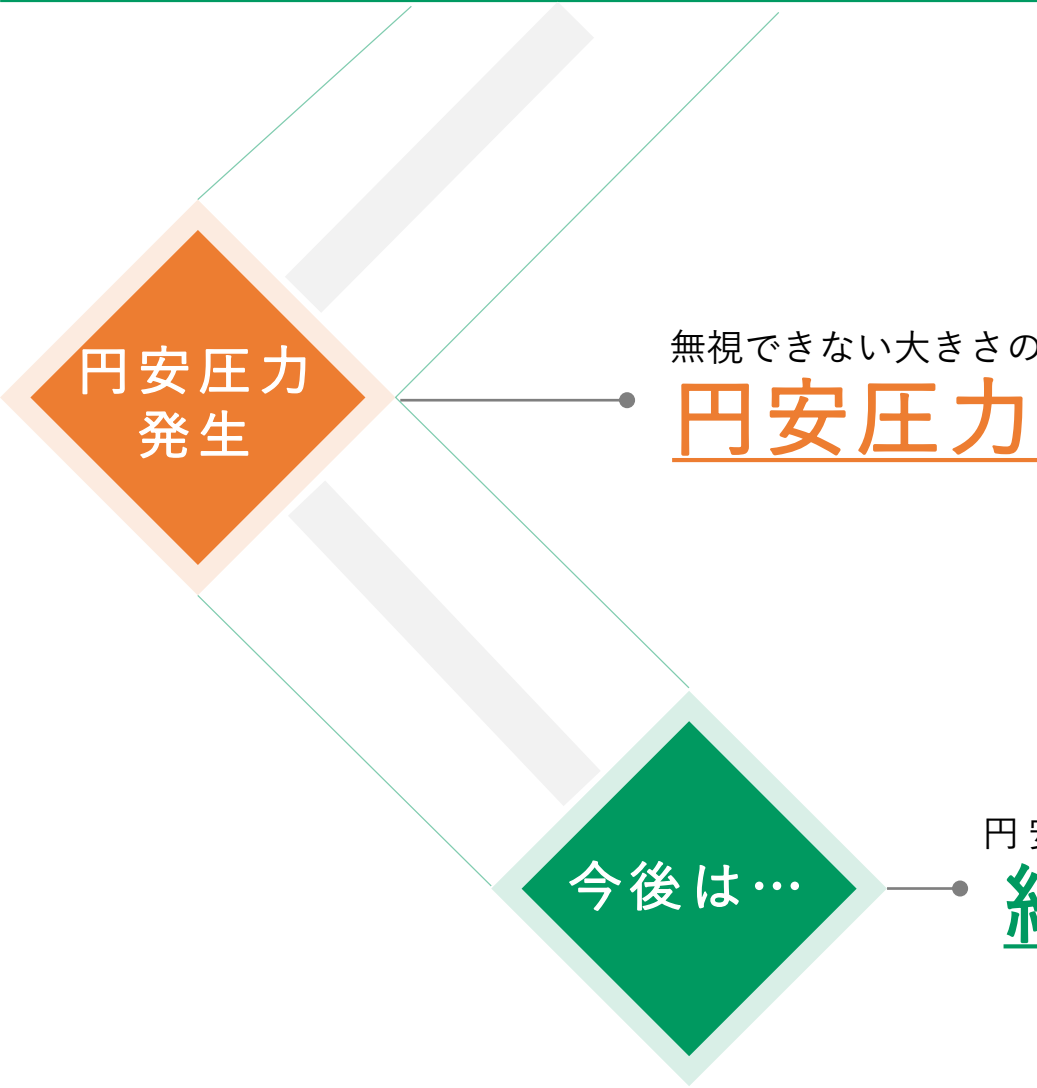
◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

りそな経済フラッシュ

(25年も続くNISAを通じた円安圧力)



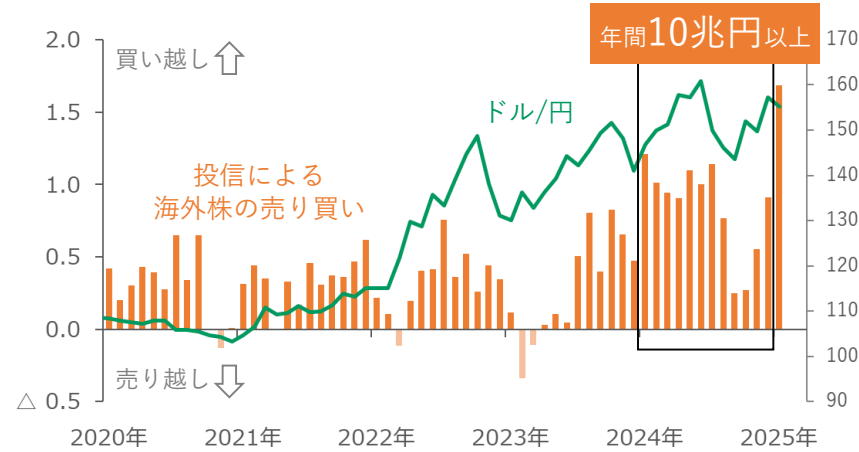
円安圧力発生

無視できない大きさの
円安圧力

今後は…

円安圧力の
継続

【投信による海外株の取得金額とドル/円】
2024年は年間10兆円以上の海外株を買い越し



2024/4の過去最大の介入額：5.9兆円を超える水準
(当時は1日で5.6円の円高進行)

含み益増加による利益確定や、新NISAを機に投資を始めた個人の増加によるショック的な局面での“投げ売り”を通じた、円高圧力のエネルギーが貯まっていると言えよう。

しかしながら、資金流入の3割は「つみたて投資枠」であることや、貯蓄→投資への流れが続くと想定されることから、今後も円安圧力が継続すると予想する。

出所：各種報道、投資信託協会、Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。